

通所リハビリテーション一時閉鎖と新型コロナウイルス感染に関するお知らせ

平素より当院の入院、外来、通所リハビリテーション等をご利用いただき、誠に有難うございます。

本年 11 月末、当院の外来や通所リハビリテーションをご利用になった方が、その数日後に他の医療機関でコロナ感染が確認されたことが判明しました(計 2 名)。当院では直ちに通所リハビリテーションを休止するとともに、感染された方々と接触した人を全てリストアップし、感染リスクの評価を行いました(幸い、外来では接触者がごく限られていたので、閉鎖には至りませんでした)。保健所の指導も受けつつ、感染リスクが比較的高いと思われる方々については全員 PCR 検査を行い、全て陰性であることを確認しています。通常はこの段階で、通所リハビリテーションを再開するところですが、当院の「絶対にコロナ感染を出さない、広げない」という方針に則り、リスクが全くないと言えるようになるまでは閉鎖を継続することにいたしました。

類似の事例はその後も 2 件報告がありましたが、全て感染対策委員会を通して同様に厳しいチェックをかけ、検査が必要とみなされた接触者は全員コロナ陰性であることを確認しております。

感染予防徹底のための長期にわたる通所リハビリテーションの閉鎖が、逆に様々な憶測を呼ぶ可能性もありますが、実際のところは上記のような経緯ですのでどうかご安心ください。関係の皆様には大変なご心配をおかけしていますが、

厳しい感染防御策の一環であるのご理解いただければ幸いに存じます。

不明なこと、不安なことは遠慮なくスタッフにお尋ねください。事実をありのまま、きちんとご説明致します。

今後とも当院はご利用いただき皆様の健康を第一に運営していく所存ですので、どうかご安心の上、引き続きご利用ください。

令和2年12月25日

感染対策委員長 石松義弘

院長 長尾哲彦

理事長 井林雪郎